

CSRに対する考え方

三菱地所グループにとってのCSRとは、「基本使命」である「住み・働き・憩う方々に満足いただける、地球環境にも配慮した魅力あふれるまちづくりを通じて、真に価値ある社会の実現に貢献すること」であると考えています。そのために、「行動憲章」の柱である「誠実な行動」「お客さまからの信頼」「活力のある職場」の3つを実践し、ステークホルダーと対話しながら、社会に貢献する企業グループをめざしています。

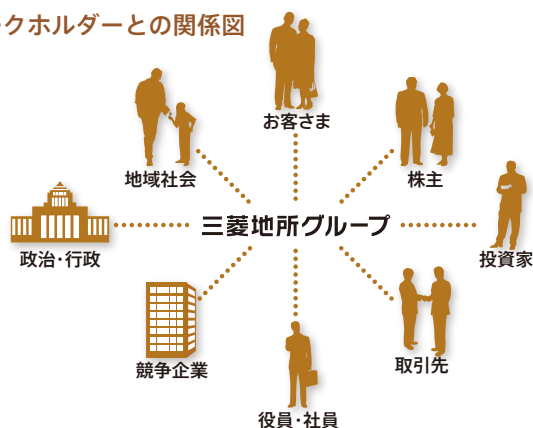


制定:1997年12月1日
改正:2002年 8月1日
改正:2006年 1月1日

三菱地所グループとステークホルダーとの関係

三菱地所グループの事業は、お客さま、株主、地域社会、政治・行政や取引先、および役員・社員など、さまざまなステークホルダーとの関わりの中で成立しています。まちづくりという事業活動は、その性格上、多くのステークホルダーと関わるものであり、三菱地所グループは、これらステークホルダーの信頼にお応えしながら事業活動を継続的に進めていく責務があります。さまざまな形でステークホルダーと対話し、その声を経営に反映すべく、取り組みを重ねていきます。

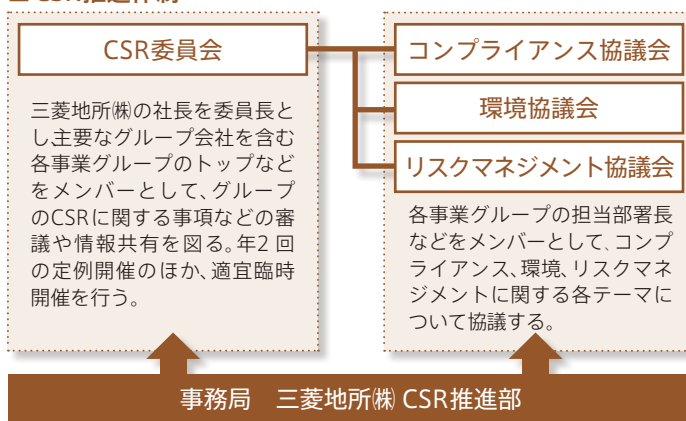
■ステークホルダーとの関係図



CSR推進体制

三菱地所株ではCSRに対してより積極的に取り組み、これを推進する体制を整備するため、従来から取り組んでいた組織を統合し、2005年4月に「CSR推進部」を設置しました。同年9月には三菱地所グループ全体のCSRの推進を図るため、三菱地所株の社長を委員長とする「CSR委員会」を設置するとともに、その事前協議機関として「コンプライアンス協議会」「環境協議会」「リスクマネジメント協議会」を設けています。

■CSR推進体制



2009年度のCSR委員会開催実績

■第1回(2009年7月: 定例開催)

- ・グループ環境経営、社会貢献活動状況、活力のある職場づくりの取り組みについて
- ・リスクマネジメントの取り組みについて
- ・コンプライアンスに関する報告 ほか

■第2回(2010年2月: 定例開催)

- ・グループ環境基本方針の改定について
- ・グループ環境経営方針について
- ・社会貢献活動「空と土プロジェクト」等 報告
- ・コンプライアンスアンケート結果報告 ほか

なお、CSR委員会については、以下の2名の社外有識者にアドバイザーとして参加いただいています。

高 巖氏(麗澤大学経済学部長 大学院国際経済研究科 教授) 江上 節子氏(武蔵大学 社会学部 教授)

当面の展開テーマ

2009年2月に開催されたCSR委員会では今後3～5年で重点的に取り組むテーマとして3つの当面の展開テーマを定めました。

当面の展開テーマ

環境経営の推進	低炭素社会形成への寄与
	循環型社会形成への寄与
	自然調和型社会形成への寄与
	環境コミュニケーションの推進
	エコロジカルなひとづくり
経営資源を活かした新しい社会貢献活動の推進	グループ全体で取り組む活動の推進
	地域と連携した、三菱地所グループらしい活動の推進
活力のある職場の実現・活力のある人財の育成	意欲と能力を發揮できる職場づくり
	人権と多様性を尊重した職場づくり